

国際シンポジウムのご案内

アジアにおける大気汚染物質の挙動と健康影響問題
Current Issues on Behavior and Health Effect of Air Pollutants in Asia

主催： 金沢大学環日本海域環境研究センター
後援： 日本環境変異原学会
日時： 2019年11月21日（木）午後1時半～5時（含む総合討論）
会場： 金沢大学角間キャンパス自然科学本館 1F レクチャーホール

趣旨

WHO は PM_{2.5} などの大気汚染物質の曝露によって世界で毎年数百万人が死亡していると警告しています。PM_{2.5} にはベンゾ[a]ピレンに代表される発がん性多環芳香族炭化水素類が含まれています。世界でも、中国やインドではこれらの濃度が極めて高く、その一部は越境輸送されて影響が広範囲に及ぶことが懸念されています。我が国では、PM_{2.5} の大気環境基準は設定されていますが、多環芳香族炭化水素類については未整備であり、対策が急がれます。

今回、アジア環境変異原会議（東京）で日本、中国、インドの専門研究者による国際シンポジウムが開催される機会に、そのシンポジストを中心に金沢でサテライトシンポジウムを開催します。多くの方々のご参加をお待ちしています。

○シンポジスト（予定）：

Doctor. Ravichandran Beerappa, Regional Occupational Health Centre, India

Professor Min Hu, Peking University, China

Profesoor Haidong Kan, Fudan University, China

青木康展（国立環境研究所）

中村裕之（金沢大学）

早川和一（金沢大学）

○使用言語（予定）：英語（通訳無し）

○参加費：無料

連絡先： 早川和一 hayakawa@p.kanazawa-u.ac.jp ・ 幸西優香 f2001@p.kanazawa-u.ac.jp
金沢大学環日本海域環境研究センター